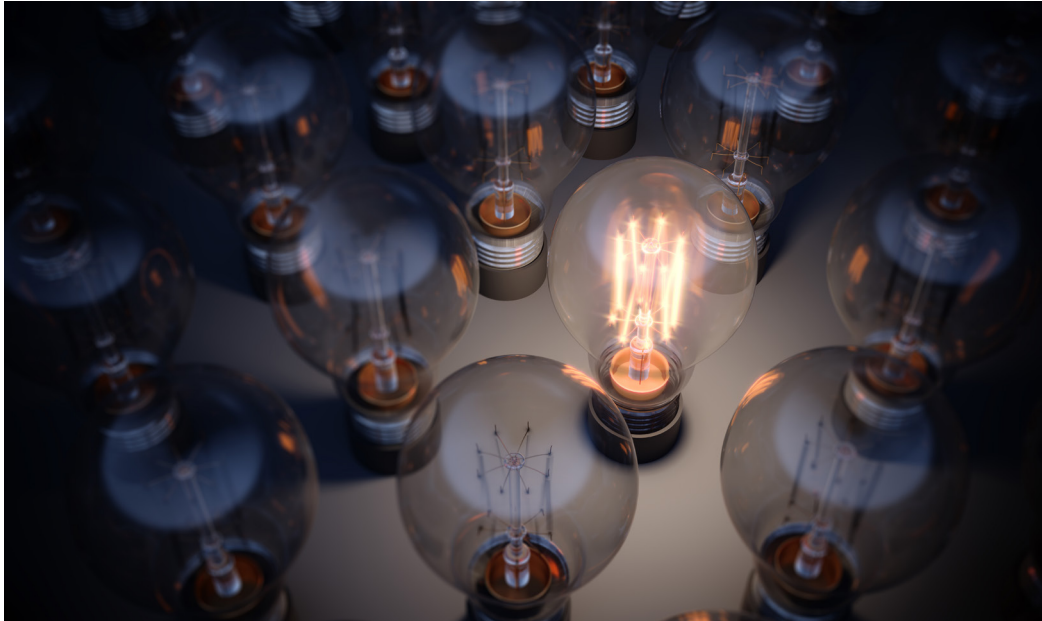


学術的パートナーシップ： 利益をもたらす新しい考え方



※すべての投資戦略には利益と損失の可能性があり、お客様またはお客様の資本が危険にさらされる可能性があります。過去の実績は、将来のリターンを導くものではありません。

キーポイント

- 金融業界以外の専門家と関わることで、独自の投資アイデアを生み出し、集団思考に陥るリスクを低減することが可能
- ベイリー・ギフォードがテスラ、メルカドリブレや複数のバイオテクノロジー企業に投資したのは、学術界からの洞察に基づくものである
- 新しいパートナーシップにより、電力網に再生可能なエネルギー源を追加する機会を見出すこともできる

1949年8月、ソビエト連邦は最初の核爆弾を爆発させました。

米英の専門家は、この極秘実験がカザフスタンの遠隔地で行われたことを突き止めるだけでなく、その日時を特定するのに3週間もかかりませんでした。

気象学、放射化学、爆弾製造、数学、飛行学など、さまざまな分野の高度な専門家が結集して、この偉業を成し遂げたのです。この秘密を暴く微粒子の破片を特殊なフィルターを装着した米海軍の飛行機が拾い上げたのだということです。

それまでは、ソ連が原子兵器を開発するのは何年も先のことだというのが、アメリカ政府内のコンセンサスでした。しかし、専門家たちがそれぞれの技術を結集することで、歴史を変え、冷戦を促す戦略的思考の変化を促しました。

ベイリー・ギフォードは、さまざまな分野の専門家と力を合わせることで、独自の考えを持つことができると考えています。そして、上記の話にはキッカケがあります。

複雑系科学

この先駆となった一人は、核化学者のジョージ・コーワン氏です。彼は学際的な研究の価値を強く信じ、後にニューメキシコ州にサンタフェ研究所を設立しました。ベイリー・ギフォードはこの研究所へ協力、資金援助をしています。

「コーワン氏は、物理科学を応用して世界で最も困難な問題を解決する方法を見つけることに関心を持つ学者たちのコミュニティをまとめました。」と、ベイリー・ギフォードの学術コーディネーターであり、最近同社のDisruption Weekのブリーフィングに参加したイヴ・ヘップバーンは述べました。

「彼らは、脳の働きから気候変動まで、学際的なアプローチを必要とする複雑なシステムの研究こそが、彼らを結びつけてくれると気づいたのです。」

コーワン氏は2012年に亡くなりましたが、彼の研究は経済学者のブライアン・アーサー教授らによって引き継がれています。

アーサー教授の先駆的な研究には、企業や技術がどのようにして支配的な存在になるかを研究するものがあります。

収益の増加：先行する企業、製品、技術がさらに先行し続ける一方で、優位性を失った企業はさらに後退する傾向があること。

ネットワーク効果：ある製品やサービスを利用する人が増えれば増えるほど、その価値が高まり、さらに利用が増える。逆に、ライバル会社のサービスから離れる人が増えれば、残った顧客との関係が希薄になる。



ブライアン・アーサー教授は、テクノロジーの進化の仕方や、複雑性の科学が経済学にどのように適用されるかを研究しています。© REUTERS/Arnd Wiegmann

「アーサーは、小さな会社がいかに早くから競争優位に立てるかに興味を持っていました。」

「彼は、少なくとも年に1回はベイリー・ギフォードの投資家と話をし、ラテンアメリカの主要な電子商取引・決済サービスを提供するメルカドリブレのようなハイテク企業の可能性について、投資家がどう考えるか根幹となる役割を果たしました。」と、ヘップバーンは説明します。

同研究所のもう一人の研究者であるジェシカ・トランシック氏は、エネルギー技術の進歩のペースを予測する研究で、比較的早い段階からテスラへの投資のメリットをベイリー・ギフォードの投資家に納得させることに貢献しました。

また、理論物理学者から生物学者に転身したジェフリー・ウェスト氏の、生物、都市、企業がその規模に応じてどのように変化するかについての研究も、ベイリー・ギフォードの多くの人々の考え方に影響を与えています。

グローバルなパートナーシップ

サンタフェ研究所は、ベイリー・ギフォードがパートナーシップを結んでいる30以上の教育機関や個人の研究者のうちの1つです。

その他にも、以下のようなものがあります。

- ベルギーのルーヴェン市に位置するThe Interuniversity Microelectronics Centre (IMEC) とその半導体技術に関する研究
- 上海交通大学の中国-英国 低炭素カレッジとそのネット・ゼロ・エコノミーに関する研究
- アリゾナ州立大学のヘンドリック・ベッセルバインダー教授と、最も良い成績を収めている株式の特徴に関する研究

より身近なところでは、ベイリー・ギフォードはエディンバラ大学のデータおよび人工知能の倫理に関する講座や、シャノン・ヴァラー教授に資金を提供しています。彼女はヘルスケア、金融、教育などの分野で機械学習や自動化を利用することの利点と落とし穴について、当社の考え方を形成するのに貢献しています。

また、ダンディーにあるジェームス・ハットン研究所でのアリソン・ヘスター教授の研究にも資金援助を行っています。

「彼女は、トラクターやコンバインを化石燃料から電気や低排出の水素ガスに切り替える方法を研究し、気候変動に対応した農業のパイオニアです。」とヘップバーンは述べています。

「また、土壌を利用して炭素を吸収・固定する方法についても研究しています。農業機械メーカーのジョン・ディアや持続可能な農業の専門であるインディゴ・アグリカルチャーなど、私たちが投資している企業の可能性を理解するのに役立ちます。」

ベイリー・ギフォードは、オックスフォード・ブルックス大学生物医学科のニッキー・ラッジ教授ともスポンサーシップを結んでいます。眼の研究における彼女の遺伝学分野の研究は、ゲノム解析のスペシャリストであるイルミナを含むいくつかのバイオテクノロジーへの投資に反映されています。



機械学習や自動化などの関連技術が、人々の行動やモラルをどのように変化させるかを研究するシャノン・ヴァラー教授
© Edinburgh University



微生物を使って綿花などの作物の健康状態を改善するインディゴ・アグリカルチャーのような企業の投資判断に、学識経験者が情報を提供することができる。© Indigo Ag, Inc.

資金調達とコミュニティの構築

こうした関係は、当社の投資戦略チームが新しいアイデアの流れを維持するのに役立ち、時には新しい発見を目前で見ることができます。しかし、その目的は、どの会話が最も利益を生むかを推測することではありません。経済学者のジョン・ケイは、著書『Obliquity』の中で、「目標は間接的に追求するのが最善であることが多い」とも述べています。

研究者にとって一番のメリットは資金調達です。しかし、それがすべてではありません。

「私たちは研究者の成果について規定しないため、彼らが研究評議会や政府から資金調達を受けることとはわけが違います。私たちは研究に対して杓子定規にならず、また、膨大な官僚主義につながるような制約をつけないようにしています。」とヘップバーンは、説明します。

「また、金融業界について学ぶと同時に、彼らの仕事についても学ぶことができるよう素晴らしい対話の場を設けています。そして、私たちが一緒に仕事をしているクライアントや企業を紹介することで、より大きなネットワークや関心を持つ人たちのコミュニティを築くことができます。」

政治学と国際関係論の元准教授でもあるヘップバーンは、このような関係を促進するだけでなく、自身の研究を支援するために研究者を小さなネットワーク集団にまとめています。これをベイリー・ギフォードの投資マネージャーが活用しています。ベイリー・ギフォードの投資マネージャーたちは、このような研究成果をもとに、高級品業界の研究や脱炭素化に関する理解を深めています。

「私たちは集団思考の危険性を認識しているため、同じテーマについて異なる見解や、時には競合する見解を得るように努めています。心理学者、経済学者、ビジネススクールの教授を巻き込み、彼らの対照的な見解を統合し、共通点を見出そうとすることもあります。」

新しい人間関係

ベイリー・ギフォードの学術的な関係の多くは、スタッフが独自に研究者や研究機関にコンタクトを取ったもので、資産運用会社の分散化された体質を反映しています。そして、誰がその資格を得るかについて、決まった基準はありません。

ヘップバーンによれば、同社が最近関わったのは、正式な学術団体ではなくマイクロファイナンスに携わるブラジルの非政府組織（NGO）です。

「これは、所得格差の是正や金融包摂におけるフィンテックの社会的インパクトをより適切に測定する方法を、当社の投資戦略の1つとして理解するのに役立ちます。」と、ヘップバーンは説明しています。

ロコミからも他の企業がベイリー・ギフォードに直接コンタクトを取るようになりました。インペリアル・カレッジ・ロンドンもそうでした。

「もともとはAIについて相談がありました。しかし、すでにAIについては扱っていたため、エネルギーに関心のある投資チームを集めました。そして、電力網の脱炭素化を研究するポスドクと教授のチームに出資することになったのです。」とヘップバーンは述べています。

再生可能エネルギーは豊富だが「信頼性が低い」ため、送電線の過負荷や需要と供給のミスマッチなど、送電網の安定性に関わる問題が発生しています。そのため、新しいタイプのバッテリーや水素発電機などでそれらを解決すれば、新たな投資機会につながるかもしれません。

ベイリー・ギフォードはこのような取り組みが学術パートナーや世界のためになることを望んでおり、こうした幅広い目的は顧客の投資リターンを向上させるという私たちの優先事項に結びついているのです。

「顧客の資本を長期的に管理するのであれば、研究に関しても長期的な視点が必要です」と、ヘップバーンは述べています。

「そして、最も長期的な視点を求めるなら、それは投資銀行から得られるものではありません。これは困難で複雑な問題に生涯取り組んできた学術研究者から得られるもののなのです。」



イヴ・ヘップバーン
投資リスク、アナリティクス&リサーチアナリスト

2020年にリサーチアナリストとしてベイリー・ギフォードに入社。20年以上にわたり、学際的な研究を実施してきた経験を有する。彼女は世界有数の大学で学術的な役職を歴任し、後にエディンバラ大学の政治学および国際関係学の准教授を務める。10冊の本と60本以上の学術論文を社会科学や政治学の雑誌に発表し、世界各国の政府にアドバイスをを行う。

重要情報に関する記述

本資料に記載されている見解は、特定の商品を購入、売却、保有することを助言又は推奨するものではありません。執筆者の意見であり、事実と見做したり、投資判断の根拠としたりすべきではありません。

本資料は2022年6月に作成及び承認され、その後更新は行っていない。本資料の記載内容は作成基準日時点のものであり、現在の見解とは異なっている可能性がある点にご留意ください。

全ての情報は別途記載がない限りは、直近かつペイリーギフォード作成のものです。

本資料に使用された写真等のイメージは本文に関連する挿図に過ぎず、投資を推奨する等の特段の意図はございません。

Baillie Gifford & Co及びBaillie Gifford & Co Limited はともに英金融行為規制機構(以下FCAと呼びます)の認可を受け、かつ、その監督下にあります。Baillie Gifford & Co Limitedは英国籍投資信託(OEIC)のコーポレートダイレクターとして機能します。

Baillie Gifford Overseas Limited(以下BGOと呼びます)はBaillie Gifford & Coの100%子会社であり英国外のお客様に対して資産運用・助言サービスを提供するための会社であり、FCAの認可を受け、かつ、その監督下にあります。

英国外に居住する投資家は投資アドバイザーからの助言に基づき、弊社商品への投資に際して政府等からの許可等が必要か否かをご確認ください。また投資に関連して発生し得る税金についてタックスアドバイザーにご確認ください。

金融仲介業者

本レポートは、金融仲介業者の使用に適しています。金融仲介業者はそれ以降の配布について単独で責任を負い、Baillie GiffordはBaillie Giffordから直接この文書を受け取っていないその他の人物によるこの文書の信頼について責任を負うものではありません。

本書は英語から他言語に翻訳されています。翻訳版には英語版の文書と同一の情報のみが含まれ、英語版の文書と同じ意味を持っています。英語版の文書と翻訳版に相違がある場合は、英語版の文書が優先します。英語版は、ご要望に応じて提供いたします。

日本の投資家に対する情報開示

三菱UFJペイリーギフォードアセットマネジメントリミテッド(以下MUBGAMといいます)は三菱UFJ信託銀行とBGOとの合併会社です。MUBGAMはFCAの認可を受け、かつ、その監督下にあります

